

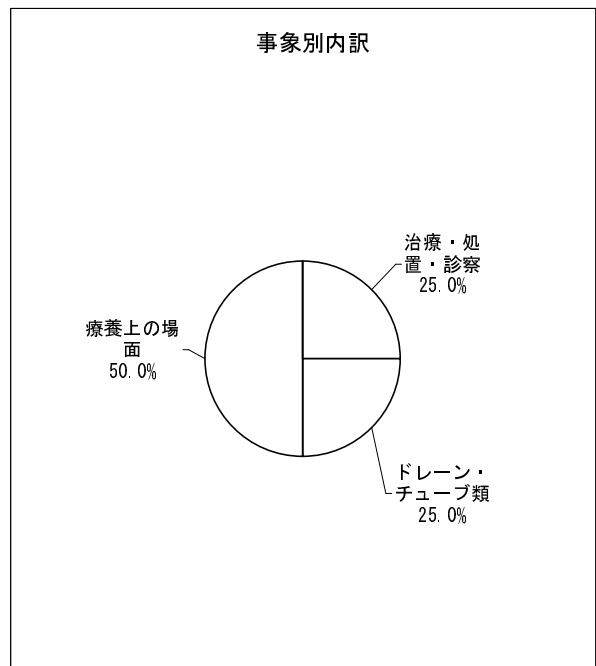
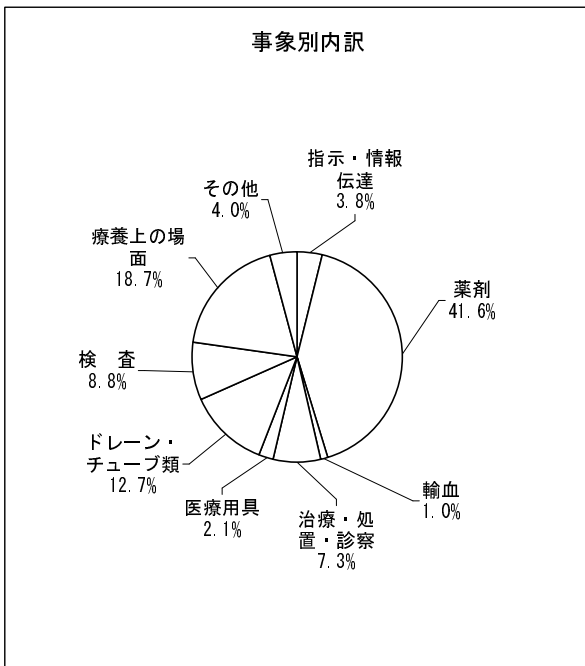
病院名：がんセンター

(1) ヒヤリ・ハット事例事象別内訳

事象	件数	構成比
指示・情報伝達	66	3.8%
薬剤(処方・与薬・調剤・製剤管理)	729	41.6%
注射・点滴	395	22.5%
内服薬	283	16.1%
その他	51	2.9%
輸血	18	1.0%
治療・処置・診察	128	7.3%
手術	45	2.6%
麻酔	4	0.2%
その他治療	12	0.7%
処置	66	3.8%
診察	1	0.1%
医療用具(機器)使用管理	37	2.1%
ドレーン・チューブ類使用・管理	223	12.7%
検査	154	8.8%
療養上の場面	328	18.7%
転倒・転落	231	13.2%
給食・栄養	78	4.4%
その他	19	1.1%
その他	71	4.0%
合計	1,754	100.0%

(2) 医療事件事象別内訳

事象	件数	構成比
指示・情報伝達	0	0.0%
薬剤(処方・与薬・調剤・製剤管理)	0	0.0%
注射・点滴	0	0.0%
内服薬	0	0.0%
その他	0	0.0%
輸血	0	0.0%
治療・処置・診察	1	25.0%
手術	1	25.0%
麻酔	0	0.0%
その他治療	0	0.0%
処置	0	0.0%
診察	0	0.0%
医療用具(機器)使用管理	0	0.0%
ドレーン・チューブ類使用・管理	1	25.0%
検査	0	0.0%
療養上の場面	2	50.0%
転倒・転落	2	50.0%
給食・栄養	0	0.0%
その他	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	4	100.0%



(3) 医療事故事例及び再発防止策(レベル3b)

概要(上段は事例、下段はその再発防止策)	
レベル 3b	<p>1</p> <p>外来患者が、診察に呼ばれて立ち上がろうとした際に転倒し、検査により骨折が判明したため、手術が必要になり緊急搬送した。</p> <p>-----</p> <p>【再発防止策】 転倒リスクの高い患者について、車いすの利用の励行や、付き添いの家族と協力するなど観察体制を強化した。</p>
	<p>2</p> <p>術後すぐに、患者の体内にガーゼが遺残していることが判明したため摘出した。</p> <p>-----</p> <p>【再発防止策】 ガーゼ枚数の確認方法を変更し、ダブルチェックを徹底した。</p>
	<p>3</p> <p>入院中の患者が、病棟の廊下で転倒し、検査により骨折が判明したため、手術を行った。</p> <p>-----</p> <p>【再発防止策】 入院時における患者の転倒転落アセスメントチェックを定期的を確認するよう徹底した。</p>
	<p>4</p> <p>患者の、皮膚の下の埋め込み式医療機器（ポート）が、血液が固まり閉塞したため、処置を行ったが、処置により過剰の圧力がかかりポートが破損したため、手術により再挿入を行った。</p> <p>-----</p> <p>【再発防止策】 血管閉塞時の対応方法について再確認し、徹底した。</p>